

止マル流レル、ツシテ歩ム

—伊東正次襖絵・屏風絵展—

画家は現代という時代の中で何を感じ何を描こうとしたのか

「鎮魂図」180×660cm（部分）

2026. 10.3 | 土 | — 12.13 | 日 |

開館時間 | 9:30—17:00（受付は16:30まで、12月13日は15:00まで）

休館日 | 月曜日・10/13・30・11/4・24・27・祝日開館

入館料 | 一般300円／小中学生200円／幼児無料（常設展共通券）

主催 | 南部町教育委員会

後援 | 山梨日日新聞社／山梨放送／（株）テレビ山梨／富士ニュース社／岳南朝日新聞社（株）／エフエム富士／
（株）静岡朝日テレビ／トミザワCATV（順不同）

協力 | 富士山芸術祭2026実行委員会／一般社団法人ARTJAPAN和SOCIETY

近藤浩一路記念

南部町立美術館

アルカディア文化館2階

Koichiro—Kondo Memorial
Nanbu Town Museum of Art



この展覧会は富士山芸術祭
2026に参加しています。



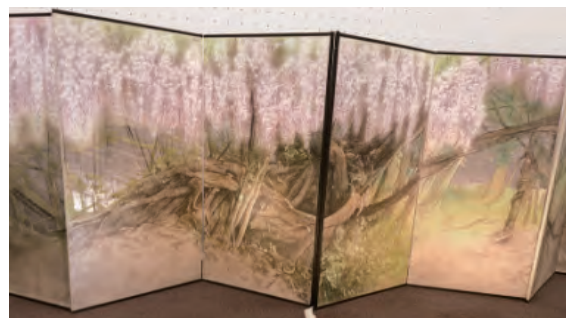
「鎮魂図」180×660cm

止マル流レル、ソシテ歩ム ～伊東正次襖絵・屏風絵展～

画家は現代という時代の中で何を感じ何を描こうとしたのか

展覧会について

伊東は自然の気配、祈り、記憶の層を丹念にすくい上げ、日本画の豊かな表現で描き出してきました。ただ、伝統的な日本画だけでは描ききれないもの、特に2011年の東日本大震災以降、現代社会を生きる中で、肌で感じてきた出来事を率直な眼差しとともに描いた作品群です。これらの静謐さと、力強さを併せ持つ作品群を通して、作家のまなざしと精神性に触れてください。



「藤花園」180×720cm

作家プロフィール

伊東正次（いとうまさつぐ）

1962年 愛媛県久万高原町生まれ。
1988年 多摩美術大学大学院美術研究科日本画専攻修了。
2013年 日展特選。2019年日展審査員。
現在、日展会員。一般社団法人ART JAPAN and SOCIETY代表理事。

多摩美術大学日本画科在籍中、日本画家の加山又造、米谷清和に学ぶ。大学院修了後、オブジェやインスタレーションを制作する。院展同人伊藤彰耳との出会いをきっかけに日本画に戻ることに。樹木や花をテーマにして襖絵を描き始める。

その後、コンクールや個展、グループ展などで発表。現在は日展に所属しながら、美術館、ギャラリーなどと共に、古民家、ホテル、寺社、高齢者施設、教育施設などの公共スペースなどで襖絵を展示。生活に身近な場所での展示をめざし、普段、美術館に足を運ばないような人々に日本画を楽しんでもらえるような機会を模索している。

会期中イベント

参加無料

■ ギャラリートーク

「日本画と社会／日本文化の環境」

講師 | 日本画家伊東正次氏

日時 | 10月18日（日）14:00-15:00

場所 | 美術館展示室

対象 | 入館券をお持ちの方ならどなたでも
予約不要

■ ワークショップ「日本画を描いてみよう」

講師 | 日本画家伊東正次氏

日時 | 11月15日（日）10:00-12:00

場所 | アルカディア文化館1F視聴覚室

対象 | 小学生～一般 定員15名

要予約（定員になり次第受付を終了いたします。）

TEL:0556-62-9292（火～日 9:30～17:00）



「散華図（パンドラ）」227×360cm

近藤浩一路記念南部町立美術館

〒409-2213
山梨県南巨摩郡南部町大和360番地
TEL:0556-62-9292 FAX:0556-62-9293
<https://www.town.nanbu.yamanashi.jp>



■ アクセス

電 車 | JR身延線「内船駅」下車、タクシーで約3分
（片道約1,000円）、徒歩20分（約2 Km）。

自動車 | 中部横断自動車道 南部ICから約5分、国道52号線を
静岡方面に向かい、トンネル2つを過ぎ当館看板を左折。

